

# マリモノカーボン(球状ナノ炭素繊維集合体)を用いた発電・蓄電用新規電極材の開発

## 用途・応用分野

I. 燃料電池、リチウムイオン電池、キャパシタ、化学センサーなどの電極材

## 本技術の特徴・従来技術との比較

I. 新しいメソ孔性ナノ炭素材料

II. 燃料電池の電極触媒材料としてPtを微粒子かつ高分散に担持することによる触媒活性の向上

III. ナノサイズの炭素繊維で構成されたメソ孔性炭素材料をリチウム二次電池の電極(負極)に応用、メソ孔を通してリチウムイオンと電解液の高速移動が可能

IV. リチウムイオンがナノ炭素繊維に吸着する特性を利用してキャパシタ機能を発現させ、従来の黒鉛層間へのインターカレーション容量と併せて充放電容量が向上

## 技術の概要

近年、新しいナノ炭素材料であるマリモノカーボン(MNC)を燃料電池用触媒担体、リチウムイオン電池の負極材、キャパシタの電極材などの新しい電極材料として応用した。

燃料電池の電極触媒担体として使用した際に、従来用いられているカーボンブラックよりもPtを微粒子かつ高分散に担持でき、触媒活性が大幅に向上した。

MNCをリチウムイオン電池の負極材に用いた場合、従来黒鉛材料で充放電が不可能であった炭酸プロピレン(PC)溶媒を電解液に用いた充放電が可能となった。PC溶媒を使用することができるMNCは、安全性が高く低温で作動するリチウムイオン電池を開発することが期待できる。今後MNCの物性に適した条件でリチウムイオン電池を設計することで、従来の黒鉛電極の性能を超える可能性が期待できる。

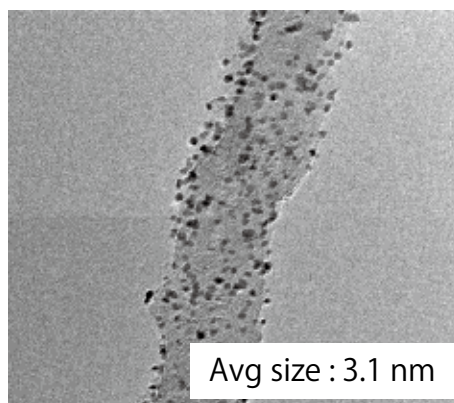


Fig. TEM image of Pt/marimo nanocarbon

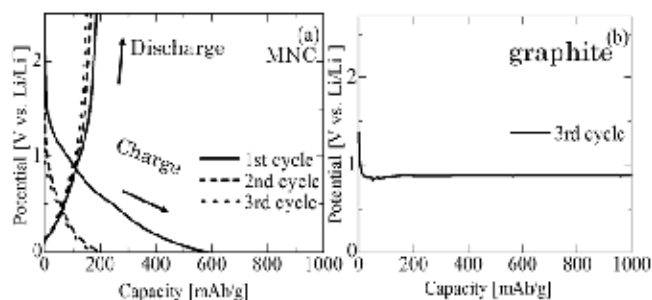


Fig. Electric potential profiles of (a) MNC, (b) graphite

## 特許・論文

### 〈論文〉

1. K. Nakagawa, *et al.*, "A novel spherical carbon" *Journal of Materials Science*, **44**, (2009) 221-226.
2. K. Nakagawa, *et al.*, "Catalytic synthesis of carbon nanotube and nanofilament over oxidized diamond-supported catalysts" *ECS Transactions*, **50**, (2013) 1-7.
3. K. Muraoka, *et al.*, "Electrochemical properties of various carbon nanofilaments for use as Li-ion battery anodes" *Trans. Mat. Res. Soc. Japan*, **41**[1] (2016) 81-84.

## 研究者

中川 清晴  
環境都市工学部 エネルギー・環境工学科  
エネルギー材料研究室

お問い合わせ先

関西大学 社会連携部 産学官連携センター

TEL: 06-6368-1245

MAIL: sangakukan-mm@ml.kandai.jp